

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんこんごうかい		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人 金剛会		<a href="https://kongou-assoc.com/index.htm">https://kongou-assoc.com/index.htm</a>
代表者職・氏名	代表理事 金剛永謹		
制作団体所在地	〒 602-0912	最寄り駅(バス停)	地下鉄烏丸線「今出川」駅
	京都市上京区烏丸通中立売上る龍前町590番地 (京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅, 6番出口より徒歩5分)		
電話番号	075-441-7222		
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんこんごうかい		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人 金剛会		<a href="https://kongou-assoc.com/index.htm">https://kongou-assoc.com/index.htm</a>
代表者職・氏名	代表理事 金剛永謹		
公演団体所在地	〒 602-0912	最寄り駅(バス停)	地下鉄烏丸線「今出川」駅
	京都市上京区烏丸通中立売上る龍前町590番地 (京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅, 6番出口より徒歩5分)		
制作団体 設立年月	令和2年4月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 金剛永謹	理事 種田道一、弘田幸稔、金剛龍謹、 豊嶋晃嗣、宇高竜成 監事 吉村彰彦	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任担当者 を置く	本事業担当者名	豊嶋晃嗣
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	戸嶋直忠(税理士) 豊嶋祐三子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:support@kongou-assoc.com">support@kongou-assoc.com</a>		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>京都を活動拠点とする「金剛会」は、1981(昭和56)年に、先代宗家である二世金剛巖（25世宗家）、金剛流能楽師と愛好家によって任意団体として創設され、長年、流儀の伝承、普及、後継者養成に寄与して参りました。2020(令和2)年4月には、さらなる発展のために、「一般社団法人 金剛会」となり、2020(令和2)年度には文化庁「文化芸術収益力強化事業」に参画、2021年(令和5)年度、2022(令和4)年度には、文化庁巡回公演事業に採択されるなど幅広い活動に努めています。</p> <p>社員には、無形文化財各個指定(人間国宝)1名、無形文化財総合指定保持者13名、文化庁芸術祭大賞・新人賞受賞者、京都府、京都市の各文化賞受賞者、大学等で講師を勤める者が在籍しています。</p> <p>▼金剛流について</p> <p>能楽シテ方の流儀である金剛流は、古くは奈良の法隆寺に奉仕した猿楽座の坂戸座を源流としています。能楽シテ方五流のうち、宗家が京都に在住する唯一の流儀です。芸風は、豪快でめざましい動きの中にも、華麗・優美さがあり、「舞金剛（まいこんごう）」といわれます。また、豊臣秀吉から拝領した「雪の小面」や、金剛孫次郎自作の本面「面影」など、所蔵する能面・能装束に名品が多く、「面金剛（おもてこんごう）」とも言われています。</p>	
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>これまで、文化庁巡回公演事業、(公社)能楽協会主催による学校訪問公演、京都市主催による学生向け伝統文化公演、学校訪問型特別授業などに長年に渡って、携わってきました。近年の実績は次のとおりです。</p> <p>2019(令和元)年度 (公社)京都市芸術文化協会「ようこそ和の空間 伝統公演特別授業」 (公社)京都市芸術文化協会「ようこそアーティスト文化芸術特別授業」 (公社)京都市芸術文化協会「夏休み芸術体験教室・発表会」 文化庁「能楽体験 教員セミナー ～能楽に触れてみよう～」</p> <p>2020(令和2)年度 (公社)京都市芸術文化協会「ようこそ和の空間 伝統公演特別授業」 (公社)京都市芸術文化協会「ようこそアーティスト文化芸術特別授業」</p> <p>2021(令和3)年度 文化庁巡回公演 9校、自主学生鑑賞会 7校、 京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施</p> <p>2022(令和4)年度 文化庁巡回公演 9校、自主学生鑑賞会 15校、 京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施</p> <p>2023(令和5)年度 自主学生鑑賞会 15校、京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施</p> <p>2024(令和6)年度 文化庁学校巡回公演 3校実施予定、自主学生鑑賞会実施、 京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施</p>	
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>2015(平成27)年度 文化庁巡回公演 1校（京都能楽囃子方同明会採択分） 2022(令和4)年度 文化庁巡回公演 受託 1校</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtube.com/playlist?list=PLKrOfGGi382nIXBMuE_9Ha6zc0wGVJN5d&amp;si=9x3Sbbdr_BW93n_m">https://youtube.com/playlist?list=PLKrOfGGi382nIXBMuE_9Ha6zc0wGVJN5d&amp;si=9x3Sbbdr_BW93n_m</a></p>	
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>PW:</p>

別添	なし			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 一般社団法人 金剛会】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	能楽の魅力を見つけよう ～演出に注目！一人武者vs土蜘蛛～			
企画のねらい	能楽は、美術性、舞踊性、音楽性、文学性、建築性などが組み合わせり成立している総合芸術です。国語、音楽、美術、歴史などの教科にも関わる事柄が含まれることから、児童・生徒たちが興味を持つ、入口・きっかけは広いと考えます。本企画は、能楽を通じて日本の伝統文化の魅力を知り、自国の伝統文化の継承の必要性を感じることを目的とします。さらに、自身も聴衆として、継承するための一助となり得ることの気づきにつながることを目指します。			
演目概要・演目選択理由	<p>■狂言「柿山伏」 作者：作者不詳 典拠：宇治拾遺物語 狂言の代表作で、小学校の国語教科書にも採用されている演目です。狂言は、昔の人の日常を、当時の話言葉でコミカルに描いており、そこから昔の人の暮らしや感じ方をうかがい知ることができます。本演目は、児童・生徒が、十分に理解できるストーリーで、擬音や動物の鳴き声など、年齢に関係なく、児童・生徒が思わず真似をしたくなる場面が多く、狂言ならではの“おもしろさ”を体感しやすい演目です。</p> <p>■半能「土蜘蛛」 作者：作者不詳 典拠：平家物語 幽玄な世界を表す能の演目の中でも、ストーリーが分かりやすく、見せ場も多いことから、児童・生徒ははじめ初心者の方にお薦めの演目です。特に、激しい立ち回り、シテ(主役)が細い蜘蛛の白糸を放物線を描くように次々と投げる演出は見どころです。この演出は、当流派が元祖で、金剛流第21世宗家・金剛唯一が考案しました。なお、本公演では前場を省略し上演します。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	【狂言の体験】(全員)/上演演目の1コマを演じてみます。 【楽器の体験】(代表者+全員)/代表者は実際に楽器を体験し、その他の児童・生徒は、手で拍子を打つ体験をします。 【能の謡いの体験】(全員)/ワークショップで習得した謡をお囃子付きでやってみます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	参加者全員	
		鑑賞人数目安	会場の入場可能人数まで	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【プログラム構成】</p> <p>1. ごあいさつ ・能のお稽古のはじめのご挨拶 ・本公演の流れの説明</p> <p>2. 狂言「柿山伏」について ・「柿山伏」の代表的な所作を体験してみよう</p> <p>3. 狂言「柿山伏」を鑑賞しよう！ [15分]</p> <p>4. お囃子の紹介と体験 ・各楽器の実演と体験 ・ワークショップで習得した謡をお囃子付きで謡おう！</p> <p>5. 半能「土蜘蛛」を鑑賞する前に ・演目の紹介 ・能面・能装束・小道具の紹介と体験</p> <p>6. 半能「土蜘蛛」を鑑賞しよう！ [20分] ※詞章字幕付き</p> <p>7. 能楽師との交流の時間</p> <p>8. ごあいさつ ・能のお稽古の終わりのご挨拶</p> <p style="text-align: right;">公演時間100分</p>			
出演者	<p>●シテ方(下記より、シテ1名、後見2名、地謡6名、働き1名計10名) ◎金剛龍護、◎種田道一、◎廣田幸稔、◎豊嶋幸洋、◎今井克紀、◎豊嶋晃嗣、◎宇高竜成、宇高徳成、◎田中敏文、◎谷口雅彦、和田次夫、◎重本昌也、山田伊純、惣明貞助、向井弘記、湯川稜、中村洋臣</p> <p>●ワキ方(下記より、計2名) ◎江崎欽次朗、◎原大、福王知登、有松遼一、岡充 他</p> <p>●狂言方(下記より、計3名) 大蔵流狂言方・茂山家一門</p> <p>●囃子方(下記より、計4名) 笛方/◎森田保美、◎左鴻泰弘、杉信太郎、斉藤敦 他 小鼓方/◎吉阪一郎、◎曾和鼓堂、◎林大和、林大輝 他 大鼓方/◎河村大、◎石井保彦、◎谷口正壽、◎井林久登 他 太鼓方/◎井上敬介、◎中田弘美、◎前川光範 他</p> <p>●司会 豊嶋祐三子 ※◎印は、国定重要無形文化財総合指定保持者</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	金剛龍護/本事業では主にシテを務める/金剛流26世宗家の長男。若宗家。同志社大学文学部卒業。重要無形文化財総合指定保持者。京都市立芸術大学非常勤講師。京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞受賞。(公社)能楽協会理事。			
	廣田幸稔/本事業では主に本後見を務める/同志社大学法学部卒業。重要無形文化財総合指定保持者。(公社)能楽協会理事を長らく務め能楽界の発展に寄与。2005年文化庁芸術祭新人賞受賞。京都市新人賞、京都府文化賞功労賞を受賞。			
	豊嶋晃嗣/本事業担当者・ワークショップ指導者/慶應義塾大学環境情報学部卒業。重要無形文化財総合指定保持者。北九州市市民文化奨励賞、京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞 受賞。(公社)能楽協会理事。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含	出演者: 20 名 スタッフ: 3 名 合計: 23 名	運搬	積載量: 2 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度		
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	9:30	9:30~11:00		13:30~15:10	10分	15:10~16:30	16時30分	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。							
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認 します。(大幅な変更は認め られません)	6月		7月		8月		9月	
	10日		10日		10日		15日	
	10月		11月		12月		1月	
	15日		15日		15日		15日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		105日
公演に係るビジュアル イメージ (舞台の規模や演出が わかる写真)    ※採択決定後、図 面等の提出をお願い します。	▼仮設舞台のイメージ							
								
	▼狂言「柿山伏」				▼半能「土蜘蛛」の蜘蛛の白糸を投げるシーン			
								
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否			該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある 場合		権利者名		許諾確認状況		使用(上演)許諾取付済	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】

ワークショップのねらい	能は、大人にとっても難しい、敷居が高いというイメージが一般的で、児童・生徒たちのみならず、先生方も同様に感じていらっしゃると思います。能は、600年以上の歴史があり、伝承により受け継がれてきたものです。このワークショップは、伝道師でもある能楽師が、直に、その魅力のヒミツを解き明かすまたとない貴重な機会でもあります。能楽を今に体現する演者の目線で、能と狂言の基本的な要素を分解・説明し、その要素ごとに児童・生徒は、学び、体験することで、親しみや本公演への期待が高まり、より深い学びに向かう気運を醸成します。また、先生方にとっても、新たな学びとなる内容を提供します。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	会場の入場可能人数まで
ワークショップ実施形態及び内容	<p><b>【プログラム構成】</b> ※別添(ワークショップ参考写真)をご参照ください。 ワークショップ及び本公演に添ったテキストを事前にお送りします。</p> <p><b>①ごあいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能のお稽古は必ずご挨拶から始まり、ご挨拶で終わります</li> <li>・指導者紹介とワークショップの流れの説明</li> </ul> <p><b>②「能楽」ってどんな芸能？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能楽についてレクチャー</li> <li>・「土蜘蛛」のダイジェスト動画を観て能のイメージをつかもう！</li> </ul> <p><b>③能と狂言の違いって何？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能と狂言の基本を知ろう！一仕舞の実演鑑賞付き</li> <li>・「泣く」や「笑う」などの表現方法の違いをつかんで、体験してみよう（全員体験）</li> </ul> <p>※能楽は、「能」と「狂言」の異なった味わいを持つ2種類の芸能の総称です。それぞれの喜怒哀楽の表現の違いを実演付きで説明し、児童・生徒も「泣き」「笑い」の表現を体験します。「能」と「狂言」を比較しながら学ぶことで、「能楽における表現」をより深く理解することができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <p><b>④能面・能装束の紹介と体験（代表者体験）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に能面・能装束を着けてみよう！</li> <li>・代表の児童・生徒2名が能面を体験</li> </ul> <p>※代表の先生には装束と能面を、子どもたちの代表者には、能面を実際に付けてもらうことで、能面や装束を付けて演じることの難しさも実感します。日本の伝統工芸の粋が結集した能面・装束を間近に見ることで、その価値の大切さを感じてもらうことをねらいとします。</p>		

<休憩> (10分) ※能面体験コーナーを設置します。

⑤「能」を体験してみよう！（全員体験/代表者体験）

- ・仕舞「土蜘蛛」実演鑑賞 ⇒本公演では省略する前場を鑑賞します。
- ・「摺り足」ってどうやってするの？
- ・「舞」を舞ってみよう！
- ・「土蜘蛛」の謡の一節をみんなで謡おう！⇒本公演では囃子付きで体験します。
- ・土蜘蛛の巣を投げかけてみよう！（代表者体験）

※「構え」・「歩み」・「舞」・「謡」といった能の基本型を体験します。能の所作には、日本古来からの日本人ならではの美しい所作が盛り込まれています。また、土蜘蛛の巣を投げかける体験をすることで、本公演への期待感が高まります。



⑥能楽師との交流の時間

⑦ごあいさつ

- ・能のお稽古の終わりのご挨拶

所要時間100分（途中休憩10分含む）

その他ワークショップに関する特記事項等

- ①「能楽」をわかりやすく纏めたテキスト小冊子を、児童・生徒全員に配布します。
- ②数種類の能面を展示し、休憩時間を含む前後の時間帯に、間近でご覧いただけます。
- ③代表の先生1名に能面・能装束を着付けます。
- ④能楽師の実演やお話と併せ、プロジェクターの映像を見ながらわかりやすく解説するため、スクリーンの借用をお願いします。その他、マイク2本、長机4台、折り畳み椅子6脚、延長コード1台、更衣室1部屋をお貸しいただけますと幸いです。（プロジェクター本体は持参いたします）

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫

### ①本事業に対する取り組み姿勢

「金剛会」はこれまで任意団体として活動してきましたが、「能楽」の普及・啓発に係る企画運営及び実施について、組織的に展開できる体制を強化するため、メンバーの総意により2020年4月に法人化し「一般社団法人金剛会」となりました。今後の活動においても、その課題や成果を組織全体で共有することで、個々の能楽師の活動の活性化はもとより、流儀の発展、さらには社会や地域への普及・啓発へ繋がる様々な活動の実践を目指しています。本事業では、下記に重点を置いて取り組みます。

#### (1)子供たちが実際に鑑賞する機会の創出

次世代を担う子供たちへのアプローチは大変重要と考えています。知名度や実績などにとらわれない、感受性豊かな子供たちにこそ、本格的な「能楽」に接して欲しいと考えています。

#### (2)次世代へ繋ぐために、先生方の関心を高め、理解を深めたい

古来から続く伝統・文化を絶やさないために、次世代を担う子供たちと日々接する先生方の役割は重要と考えます。この機会に、先生方が「能楽」への関心を高め、理解を深めていただけるよう、事前打ち合わせや資料提供などを丁寧に行います。

#### (3)「日本の美」が凝縮された能楽を通じて自国の文化を知る

日本古来の美しい言葉を宿す謡、洗練された舞（所作）、伝統工芸の粋を極めた装束、多彩な能面など、見ても、聞いても、美しいものばかりが用いられていますが、それらをまとめ上げ、ひとつの芸術的舞台に昇華させているのが、脈々と続く「伝統」を受け継ぐ能楽師です。能楽に触れることは、多彩な「日本の美」に触れることでもあります。

### ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

ア、初めて能を観る子供たちが大半である事を踏まえ、楽しく、わかりやすく、子どもたちの目線に寄り添い、プログラムを進めます。

イ、事前ワークショップと本公演を通じ、児童・生徒、そして先生方を含めた全員に「能楽」への理解を、楽しみながらより深めていただけるよう、観る・聴く・体験するをバランスよく配置したプログラム構成を目指します。

ウ、事前ワークショップおよび本公演共に、プロジェクタースクリーンを使用します。能楽師の実演やお話しに加えて、動画や写真、文字情報などを投影しながらプログラムを進めて参ります。また、本公演の能「土蜘蛛」鑑賞の際には詞章を投影します。

エ、能楽を分かりやすく理解できるようにイラストや写真を盛り込んだオリジナルのテキスト冊子を作成します。

オ、学校の先生からの問い合わせや調整に対しては、本事業担当チームに、学校教師や同種事業の長期経験者をへ配置し、的確に分かりやすく対処・説明ができるよう、体制を構築します。

カ、学校側の担当者の先生向けに、本事業の受入れのための資料を分かりやすく作成し、本事業未経験の先生にも無理なくご担当いただけるよう、丁寧に打合せいたします。